


# いきもの記

Vol.179 2026.4.16

2年1組 鳥居 幸永  
(科学研部生物化学班・昆虫研究)

## 日本最大級かつ伝説級のゲンゴロウ ナミゲンゴロウ

ムシムシムシムシ  どうも鳥居です。さて、今日は僕が最も好きな昆虫の一つである、ナミゲンゴロウについてです！最初に言わせてください。**この虫は本当に魅力的な昆虫です。**

まずみなさんはゲンゴロウという昆虫を知っていますか？ゲンゴロウとは主に水の中を棲家とする昆虫のグループ「水生昆虫」のうち、コウチュウ（甲虫）目に属する昆虫です。日本には100種類以上生息しています。後脚には、遊泳毛と呼ばれる泳ぐための毛が生えていて、水中を泳ぎ回ります。また、ほとんどのゲンゴロウはおしりの呼吸管から息を吸い、水中にいる間は気泡をお尻につけて呼吸しています。

ナミゲンゴロウはゲンゴロウの中でもフォルムがとっても綺麗なんです！前翅から胸にかけて深い緑色と白い線の枠があるこのシンプルな模様が僕は大好きです！また、他のゲンゴロウと比べて大きいため、手に持った時の迫力もありますし、泳ぐ姿がとっても優雅なんですよ！

しかし、このナミゲンゴロウは近年農薬や外来種などの影響でとても数を減ら



写真3：ナミゲンゴロウの採集地  
ガマなどの水生植物が生い茂っています。

しており、販売等も禁止になったため、なかなか人の目につくことがなくなりました。ちまたでは**伝説のゲンゴロウなんて言われることもあります！**

僕が最初にこのゲンゴロウに出会ったのは幼稚園の頃です。ある日、栃木県のツインリンクもてぎのハローウッズという自然体験施設に家族旅行で行きました。そこにはナミゲンゴロウが水槽に展示されている他、水生昆虫が大好きなスタッフがいらっしゃいました。当初はタガメという他の水生昆虫（Vol.164で先生が熱弁している昆虫）がとても好きでそれを狙って採集などもよく行っていました。しかし、そのスタッフさんの影響もあってか、ナミゲンゴロウの魅力に気付いてしまいました。そして僕はナミゲンゴロウを採集するため、生息している池を探し始めました。探し始めてから3年経ったある日、ようやくナミゲンゴロウを発見することができました（写真1）。**初めてナミゲンゴロウを捕まえた時の喜びは今も忘れられません！**それから何度かナミゲンゴロウを捕まえているのですが、捕まえるたび興奮してしまい、全然写真を撮っていません笑（写真2、3）。

どうでしょうか？読者の皆さんもナミゲンゴロウに興味を示していただけたでしょうか？いきもの記を読んでいただいた皆さんにはぜひ、**実際に博物館や昆虫館で実物を見ていただきたいです！そして実際に触れてもらいたいです。** そうしなきゃ本当の魅力には気づけません。ぜひチャレンジしてみてください！

写真1：ナミゲンゴロウ

*Cybister chinensis* ゲンゴロウ科オオゲンゴロウ、ゲンゴロウとも呼ばれます。主に池、水田などに生息していて、日本に生息しているゲンゴロウ科の中でも日本最大級です。魚や他の水生昆虫の死骸などを食べます。春に池の中で冬眠から目覚め、初夏頃に水田などに飛び、夏から秋にかけて池で交尾し、産卵します。大体成虫の寿命は3年程度です。写真はライトトラップで飛来した個体です。



写真2：枝の上で静止する個体

雌雄の見分け方は前翅の光沢の有無と、前脚の吸盤の有無で分かります。この個体は前翅に光沢が無いのと前脚に吸盤が無いため雌です。

Q：写真1の個体はオス雌どちらでしょうか？